ぐっすりーぷ
Vol.13 No.12
SAS支援会

〒951-8061
新潟市中央区
西堀通り5番町
こうの歯科
（担当：河野）
025-226-6050

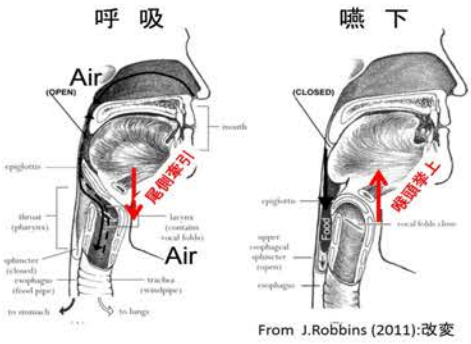
＞誤嚥と無呼吸＜

新潟大学との共同研究がスタート

2022年3月、睡眠学の世界的トップジャーナル「SLEEP」に異例の速さで論文が掲載されました。その論文は、睡眠時無呼吸症候群の患者に睡眠中の嚥下障害や誤嚥が生じやすいことを発見、睡眠時無呼吸の積極的治療が誤嚥による肺炎の予防となる可能性を示しました。著者の河野茜先生は千葉大学医学部で医学博士を取得後、日本歯科大学で歯学博士も取得して、現在は新潟市のこうの歯科医院の副院長を勤めながら新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野で誤嚥性肺炎の発症のメカニズムを研究しております。

以前に「SLEEP」に掲載された先生の論文では、全身麻酔下のヒトで肺容量が舌骨や喉頭の位置を変化させることを示し、それを発展させたのが今回の論文です。この一連の研究のエッセンスは、睡眠時無呼吸症候群も睡眠時の嚥下障害や誤嚥も舌骨や喉頭が尾側に移動してしまうことで引き起こされるという点です。この発見で新たな診断法や治療法を提案できるかもしれません。

河野　茜先生の診察は、こうの歯科、こばやし内科、新潟大学病院口腔リハビリテーション科で受けることができます。



From J.Robbins (2011):改変

2面　1面
「誤嚥と無呼吸　共同研究開始」
「須田会長のしょっぺ店の楽しみ方」
「気になる医療ニュース」
「思い出のぐっすりーぷ」

しょっぺ店の楽しみ方37
「沼垂はしご酒編」

支援会会長　須田　和行
新潟バーベキュー協会会長

新潟市を38年ぶりに襲った師走大寒波も少し落ち着き、年内の仕事も終了したので沼垂地区で1人飲みを楽しんできました。まずは以前紹介した「沼垂ビール」さんで先日合格したビール検定1級の話などしながらクラフトビールを2杯味わってからスタートです。

次に向かったのは歩いて数分のしょっぺ店「一番どり」さん。初めての入店ですが、カウンターと小上がりを女将さん1人で切り盛りする典型的なしょっぺ店ですね。カウンターには既に3名の地元常連らしき人生の大先輩達が話に花を咲かせてました。早速晩酌セットで瓶ビールを注文し、ぐびぐびしてると料理が到着。大根、こんにゃくのおでんに大根の煮しめ、あつあつのアジフライが2枚となかなかのボリュームです。これで千円とかなりリーズナブルですね。お腹が空いていたので早速たいらげ、追加で大好物の身欠き二シン焼きを注文しお酒は芋焼酎のお湯割りに。手が空いたところで女将さんとお話ししたら、お店は開店してもう40年になるそうで、昔は北越製紙の関係者などで大賑わいだったそうです。これで飲み足りない飲んべえは馴染みの「大佐渡たむら」さんに年末のご挨拶も兼ねて移動です。寒いので熱燗とお得な刺盛りセットを注文しましたが、お酒二合にこの刺身とお通しの鱈子煮がついて1480円とこちらもお得ですねぇ。お腹も温まってきたところでずっと食べたかった牡蠣フライと真鱈の白子ぽん酢を注文し、もちろん日本酒も追加ともう勢いが止まりません。最後に好物のくわいせんべいを食べて本日の1人飲みは終了。ただいまダイエット中というのにホントによく飲んで食べました。

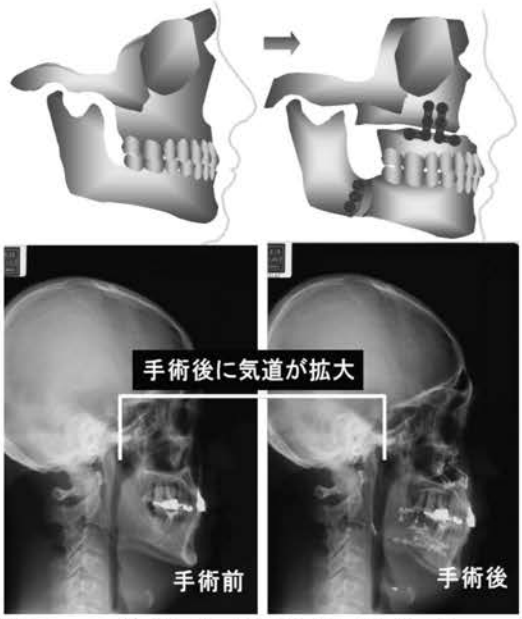
医療法人康治会
片平歯科クリニック
www.katahiradental.com/

The Good Sleep Archives

原因は「顎の骨格」「肥満」、それと「低位舌」
― 顎（あご）の手術について ―

（10）第２巻10号（2011年10月）

今号は顔面骨格を改善する手術について説明しましょう。米国のスタンフォード大学には睡眠を発見したデメント教授や睡眠時無呼吸症候群を発見したギルミノー教授が在籍されていて、世界的な睡眠医学のメッカと言われております。近頃、このスタンフォード大学が力を入れ始めたのは上下顎前方移動手術（ＭＭＡ）と言う顔面骨格に対する治療です。この手術を行うためだけに、同大附属病院とは別に新たな手術専門病院を作ったくらいです。



この手術の歴史は古く、私も何例も行っております。写真はその一例で、手術後の写真に金属のプレートやネジが残っているのが判ると思います。

なんでまた、世界の睡眠医学をリードするスタンフォード大学がこの手術に注目しているのか、それはこの手術が唯一の根本的治療法だからです。

それともう一つ、睡眠時無呼吸症候群を発症させずに未然に防ぐためのヒントが隠されているからなのです。河

今月の気になる医療ニュース

3950 BMIの軌跡と軽度認知障害発症および脳の病変負荷が関連
3951 憩室疾患患者の全がんリスク、一般集団より33%高い
3952 早産児、DHA補給で5歳時のIQスコア増
3953 健康的な食事への執着が生む不健康
3954 鉄欠乏性貧血の診療の盲点とコツ（後編）
3955 便秘で認知機能低下が速まる可能性―AD、MCI患者での検討
3956 陽子線治療と重粒子線治療の違い
3957 進行大腸がん、アスピリンの生存便益に肥満が影響
3958 抑うつにはケタミンより電気けいれん療法
3959 急性心不全の転帰、意思決定支援ツールで改善
3960「慢性臓器障害」とは
3961 ECMO即時使用で心原性ショックの転帰改善せず
3962「貧血と言えば、ふらつき・めまい」という大誤解（前編）
3963 人参養栄湯の使用が急増中！（前編）
3964 腰椎椎間板ヘルニア早期の自然消退因子の一つに「仙骨の傾き」
3965 慢性臓器障害の捉えかた
3966 心房細動、クライオアブレーションで進行リスク低下
3967 COVID-19罹患後症状と微小血栓の謎（後編）
3968 めまいにはどんな治療が効果的？
3969 米国小児科学会が乳幼児の安全な睡眠環境の推奨を改訂
3970 同時流行による高齢者への影響は
3971 肥満手術による内臓脂肪の減少が心機能改善に寄与か
3972 見逃しやすい頭痛、pitfallsは「匠の技」で躱す
3973 血液バイオマーカー認知症診断を実証へ
3974 日常診療データ用いて高齢者の転倒予測ツール開発
3975 ADHDの実数としての増加とその生物学的機序
3976 慢性臓器障害の進行度を把握した引き算の治療
3977 季節と天気が精神に与える影響
3978 インフルエンザワクチン接種で脳卒中リスク低下
3979 コロナワクチンと帯状疱疹に関連見られず
3980 薬剤性腸炎、CD毒素検査の結果はこう読む
3981 ゲームは子どもの認知機能に良い影響を与える可能性も
3982 慢性臓器障害の横軸「臓器群アプローチ
3983 新型コロナワクチン「対応が遅い」批判に答える
3984 心不全研究、「pragmatic trial」で新時代へ
3985 心房細動の急性期治療にK＋Mg静脈内投与が有効
3986 見逃しやすい頭痛、首の上下に痛みがあったら？
3988 エーザイ　アリセプトのDLB適応の用法・用量で一変承認取得
3989 高血圧の遠隔医療、降圧効果は対面医療と差なし

編集後記

やっと師走です。今年は、7月末に日本歯科大を定年退職（名誉教授を拝命）し、睡眠医科歯科統合センター長として中央区紫竹山のこばやし内科に入職するという大変な年でした。河

実家のこうの歯科に入職し、睡眠時無呼吸症候群の診療に励んでおります。また、12月からは新潟大学大学院摂食嚥下リハビリテーション学分野の井上誠教授の下で睡眠中の誤嚥性肺炎の発生機序の研究を始めました。茜

本紙のホームページを立ち上げました

http://sleptwell.jp

① 睡眠時無呼吸症候群を取り巻く病気（バックナンバー）
② コミック『いびき症三兄弟』（バックナンバー）
③ 気になる医療ニュース
④ 睡眠に関する耳より情報や豆知識
⑤ 日本睡眠学会認定機関の紹介
⑥ 睡眠障害自動診断

こばやし内科
すいみん医療科センター　医科本部
内科・歯科
小林義昭
河野　茜
中央区紫竹山6
025-246-5600

こうの歯科
すいみん医療科センター　歯科本部
歯科・口腔外科
河野美砂子
河野　茜
中央区西堀通5
025-226-6050

古町心療クリニック
すいみん医療科グループ
心療内科・精神科
村竹辰之
中央区西堀前6
025-224-7771

TEIJIN
患者さんの
Quality of Life の向上が
テイジンの理念です。
帝人ファーマ株式会社　帝人在宅医療株式会社

FUKUDA DENSHI
医療機器専門メーカーとして、
さらなる発展を目指します。
フクダライフテック北信越(株)
0120－159－303